

本科講座 15

仕訳（仮払金・仮受金・預り金）

ねらい 仮払金・仮受金・預り金についてマスターする。

【仮払金】

社員が出張などする場合は、どの程度費用が必要になるかわからないので、概算で前もってお金を渡す場合があります。その場合には、仮払金勘定を使用して仕訳します。そして、出張から帰ってきたときに精算処理をおこないます。

例1 社員へ出張費として、40,000円を仮払いした。出張から帰って精算してみると出張費は30,000円で、残りは現金で返金した。

仮払時仕訳

(借方) 仮払金 40,000 (貸方) 現金 40,000

出張後

(借方) 交通費 30,000 (貸方) 仮払金 40,000
現金 10,000

【仮受金】

商取引をしていると、預金口座の入金が何の入金かわからない場合があります。その場合は、一時的に仮受金勘定を使用して処理します。その後、何の入金が判明した場合に、本来の勘定科目に振替ます。「本科講座9」で学習しました、現金過不足勘定と似ているところがあります。

例2 当座預金に50,000円入金されたが、何の入金が不明のため、仮受処理をした。その後、その入金は売掛金であることが判明した。

仮受仕訳

(借方) 当座預金 50,000 (貸方) 仮受金 50,000

その後

(借方) 仮受金 50,000 (貸方) 売掛金 50,000

【預り金】

会社は給料の支払い時に、必ず所得税を控除しなければなりません。この所得税を給料から引くことを「源泉徴収」といいます。これは税金を納めるために従業員に代わって預っているのです。そこで、このような場合、源泉所得税額を預り金勘定で処理をします。

例3 給料500,000円の支払いで、源泉所得税20,000を差し引いた残りを現金で支払った。その後、源泉所得税を現金で支払った。

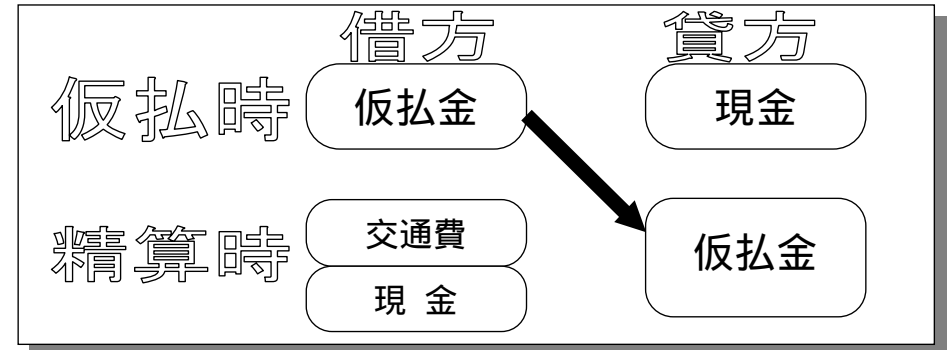
預り金仕訳

(借方) 給料 500,000 (貸方) 預り金 20,000
現金 480,000

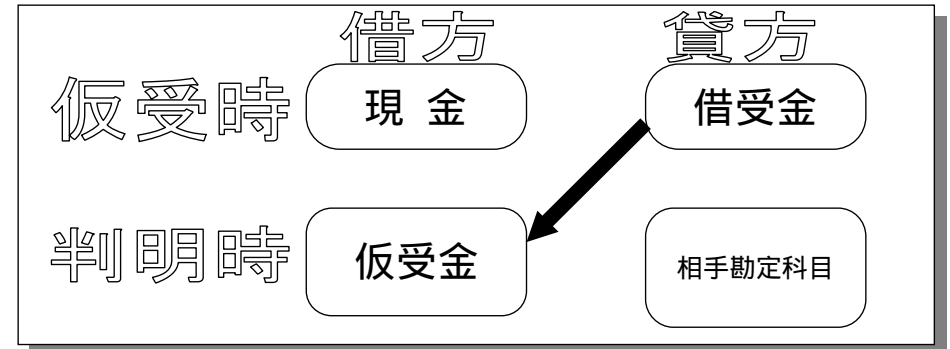
その後

(借方) 預り金 20,000 (貸方) 現金 20,000

仮払金の仕訳



仮受金の仕訳



預り金の仕訳

